

事業所名		児童発達支援 GEM GARDEN				支援プログラム（参考様式）				作成日		2026 年		9 月		1 日	
法人（事業所）理念		家庭と同じ子育て「無条件で愛されている」 「どんな時も守られている」 「そのままの自分を大切にされる」ことを、子ども達一人ひとりが感じられるようなぬくもりある保育のもと、その子の根っこを育てます。															
支援方針		①心の土台作り…子どもの内側から溢れるサインを丁寧に観察し、できたことを一緒に喜び合い、自己肯定感と挑戦への意欲を育みます。 ②体験型プログラム…五感を刺激する体験や集団生活を通じ、社会性やコミュニケーション力を育みます。正解のない「体験」だからこそ実体験で感じられる場を提供します。 ③シームレスな連携…療育と家庭と教育機関・地域が連携を密にし、一貫したサポート「シームレス・トライアングル」の構築を目指します。															
営業時間		9 16 時 15 00 分から 15 17 時 15 00 分まで				送迎実施の有無		あり <div>なし</div>									
		支 援 内 容															
本人支援	健康・生活	身支度、食事、排泄など。生活上の困りごとを柔軟に解消し、心身ともに健やかに過ごせる土台を作ります。 「自分でできた」という達成感を積み重ね、生活の主導権を自分自身で握れるようサポートします。															
	運動・感覚	個々の成長に合わせたプログラム。体の使い方を学び、感覚過敏への配慮を行いながら、五感を通じた「気づき（Mindfulness）」を促します。 五感をフルに使うセンサリープレイを通じて、運動・手先等に対する好奇心と、自分の体への信頼感を育みます。															
	認知・行動	集中力、理解力、指示の聞き取り。独自の光（Growth）を信じ、自ら挑戦し、達成感を得られるよう導きます。 「正解」を求めるのではなく、試行錯誤のプロセスそのものを楽しみ、思考を深める時間を大切にします。															
	言語コミュニケーション	言葉、ジェスチャー、絵カード等。伝わりやすい感情表現を支え、自らの気持ちを前向きに発信する力（Motivation）を育みます。 伝えたい想いが受け止められる安心感の中で、自分らしい表現方法で他者とつながる喜びを広げます。															
	人間関係社会性	ルール、順番、集団参加。人との関わりや「ぬくもり」「共感（Empathy）」を通して居心地の良さを感じ、人間関係を円満に育みます。 多様な個性が混ざり合うインクルーシブな環境で、お互いの輝きを尊重し合える心を育てていきます。															
家族支援		保護者の方が孤独にならず、子どもの「GEM」を共に喜べるパートナーとして、対話の時間を大切にします。土台である「根」の育ちを支えとして特性を「特技」として未来に繋げていけるよう保護者と共有していきます。				移行支援		こども園や小学校との緊密な情報共有により、環境の変化による迷いをなくし、細やかな引き継ぎを行うことで「切れ目のない支援」を実現します。									
地域支援・地域連携		医療・相談支援機関等と連携し、療育を「一人で行うもの」ではなく、地域全体で子どもを包み込むネットワークとして機能させます。				職員の質の向上		GEMの由来である「共感（Empathy）」を軸に、子どもの心に寄り添い、感情を受け止めるための対人援助技術と専門性を磨き続けます。									
主な行事等		本園との合同行事や、四季を感じるガーデン活動を通じ、社会との繋がりを自然な形で体験します。 参考行事：こいのぼり・花の日・水遊び・ハロウィン・共愛館テラス・収穫感謝祭・クリスマス・お正月あそび・節分・ひな祭り・避難/防災訓練・保護者会など															